

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



初代様手縫の御供入れ(上)・お守り入れ
(雲東分教会 三代昌氏所蔵)

をやの思いをにをいかけ、

^{うちうち}内治に心を配り おたすけに誠の心を尽くそう

1. 一歩前進 百万軒
2. おつとめの徹底とひのきしん
3. 機を逃さず おさづけの取次

ひまわり会 おつとめ大会

去る五月二十三日晴天の御守護のもと、会員八十三名、婦人会、青年会、女子青年会、大会運営の為に開ってくださいました方々、運転や付添い、子供達諸々の人数を含め二四〇名余りの方々が賑やかにおつとめ大会をつとめさせていただくことが出来ました。

午前九時三十分の開会

の三番太鼓が館内に響き、支部長様を芯に総立ちの十二下りてをどり学びをさせていただきました。拍子木と女性の声が響く殿内は、温みとやさしい雰囲気にもまれていたように思います。



て、又ひまわり会を伏せ込みの場として、それぞれの教会になくはならない人になってほしい。との会員に望むお心をどんな立場の方にも解り易いようにおはなしいただきました。

その後ひまわり会が発足された経歴、月々の活動内容と感想などを活動報告として会員に発表してもらい午前の部が終了となりました。



そして昼食となり食堂にはカレーの香りが立ちこめカレーを待つ列ができました。この度は、乳幼児向けにシチューとおにぎり、おかゆも用意して全ての年齢層に食事をとっていただけるよう配慮いたしました。食堂横廊下にはこれ迄発行してきた会報をひまわり会のあゆみとして展示し、女子青年会によるコーヒーバザーもあり、東の間のランチタイムを和やかに過ごすことができました。



午後より記念行事として臨床心理士、早樫一男先生による「健康な家族のコミュニケーションの法則」と題してのご講話をいただきました。講話の中にはカウンセリングに來られた方の描かれた家族の絵なども用いて健康な心で家族生活を営んでいくヒントを教えてくださいました。講話終了に伴い三殿を礼拝し解散となりました。大会に関連して、子連れの会員さんが気兼ねなく参加できるようにモニター室を設けたり、婦人會の方々に託児のお世話取りもいただきました。又記念誌の発行もさせていただきました。

ひまわり会は七年前の第一回目の集いから毎月三日に集い月々の活動を続けてまいりました。この大会は、今迄の「若いお母さんの集い」というイメージを変えて女子青年層で丹精された後の26才〜40才位の大切な年齢層を対象として、笠岡に繋がる道の女性が漏れることなく育ち、伏せ込む場にひまわり会を活用してもらいたいという思いから一年かけて準備を進めてまいりました。

近年取り沙汰されている問題に、犯罪の低年齢化や心の貧しさを言われています。今の自分の為ではなく、これからの世代の心の育ちを考えた時、ひまわり会に属する年齢層の役割はとても大きなものであると感じます。そして教えをしっかりと身につけ、女性の特分を生かして社会の中に映していきける心を培うことが急がれているように感じられるのです。これからのひまわり会を、違う立場の者が集い、お互いの心を知り、談じ合い、伏せ込みを通して、心の力を養う場にしていただきたいと願っています。

係をつとめた会員も心一杯につとめさせていただきました。年祭活動の旬を追い風に初めての大いをもたせていただけたいことを本心に有難く感じています。又この大会に当り多くの方々のご協力を頂戴いたしましたことを担当者としてこの場をおかりしてお礼申し上げます。

(ひまわり会担当者 上原 千枝子)



大会を終えて

坪生分教会 掛谷 喜代子

あじさいの花も色づき、入梅の候となりました。去る五月二十三日、『第一回ひまわり大会』が開催されました。この日の何ヶ月も前から話し合いが持たれ、当日が無事に終了した今、「ホッ」とする間もなく毎日お過ごしのことでしょうネ。大会終了後初めてのひまわり会、六月三日の例会の午後から大会の反省会があり、喜びの声や反省をしないでいけないという点、等々、さまざま意見が飛び交った中、ひとえに支部長様始め、陰になりひなたになりご指導頂いた婦人会の奥様方、又、大教会の青年先生方の温かいお力添え、ご協力があったのこの大会だったと、改めて感じさせて頂きました。

又、この大会を通して、一段と皆の心が一つ一つにならせて頂いたのでは、と思いました。この大きな旬を通して、今後、同じ笠岡につながる同じ立場の同士、私も共に歩ませて頂きたいものです。

そして、大会時の講師の先生がお話下さった中に、「くせ」(性分)を取りましょう、とお話下さった様に、教祖のひながたを今一度身に付け、教祖に喜んで頂ける日々を通らせて頂きたいものです。大会に参加させて頂きまして、ありがとうございました。



てをとりまなびに感無量

福山分教会 田中 照江

何事も、初めて事にあたるという事は難しいものですが、この度の大会も例外でなく、そういった点で難しいものでした。私個人としましては、「何が分からないのかが分からない」という手探りの状態に、少々もどかしさを覚えました。しかし、支部長様をはじめ、婦人会の方やたくさんの方々のお力添えの元、無事に大会をつとめさせて頂いた事に、心よりお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

振り返ると、大会を決起してからの一年間というものは、あっという間でした。

大会に向けての月々のひまわり会では、いつも多くの人が集まり、勇んでいたように思います。内容としては、今後のひまわり会の在り方を模索したり、おつとめ練習とふせこみひのきしん、大会の話し合いや準備：等と多くあり、どこから取り掛かればよいか戸惑うこともありました。期待と不安を抱えながらではありましたが、初めて「一つの事」に向かう喜びを感じていたように思います。私たちはこの大会に、ひまわり会らしい明るさが出していけるよう、工夫し、アイデアを出し合ってやってまいりました。

当日、気持ちのよいお天気に恵まれ、大会を迎えさせて頂きました。一番心に残っているのは、総立ちでつとめさせていただいた十二下りてをどりまなびでした。女性らしい明るい唱和が響く中、大教会長様直々にお手直し頂いた事やみんな練習してきたことが頭をよぎり、こうやって大勢でつとめさせて頂いている事に胸が熱くなりしました。前の方でつとめさせて頂いていた私は、「南無天理王命」と後ろを向く度に、神殿の後ろいっぱいまで綺麗に並んでつとめるみんなの姿を目にしたのですが、その時の光景を今でも鮮明に覚えていて感動が甦ります。

午後からの記念講演では、臨床心理士の早樫一男先生にお話しを頂きましたが、女性の役割を考えさせられるお話でした。家族の上で、相手を理解しようとする努力や読み取る努力(情報処理能力)が必要だという事や、言う言葉かけや誘い水のような言葉かけが「健康な家族」のコミュニケーションの上で大切であると教えて頂きました。特に情報処理能力に関しては、悟る力として信仰者としても重要であると言われていましたが、些細な出来事から読み取る力が持てるよう、日々努力させて頂きたいと感じました。

振り返ると、やり残した事や反省する点の多い大会ではありましたが、これも全て、次への土台となることを信じております。動かなければどこ



にも進まない、といいますが、この大会は大きく一步を踏み出したのには違はなく、その一步が、少しでも良い方向に向かうよう、これからの私たちは努力して行かねばなりません。未婚既婚を問わず、子どもの有無に関わらず、女性としての徳分を頂いているお互いが、このひまわり会の場を、支部長様の言われる「ふせこみの場・育ちの場」となるよう、みんなで力を合わせて活動してゆきたいと思っております。



心

輝美濃分教会 谷内 百里佳

大教会でおつとめ大会を今回行うと聞いて、修養科を出産という形で終了した為、最後に大教会の方へ参拝していないなあ、こんな機会に大教会へ行きたいなあ。そして、母の、せっかくの親の声、こういう機会におもいきって行かせてもらう。という一声で、信者さんの順序参拝も兼ねて、行かせていただくことができました。

当日の三日ほど前から、六ヶ月になる娘が初めて三十九度の熱を出して、私も初めての事なので、こんなに高熱で大丈夫なんだろうか？子供の身上は親の心づかいと聞かせていただいているので、自分の事を反省して、もっと低い心で通らせていただこうと、おさづけをさせてもらいました。家族みんなに協力してもらって、前日には熱も無事下がりました。子供の身上で、一つ一つ勉強させてもらって、親になっていき、子供も一つ一つ風邪をひいて免疫をつけていくんだよ、と聞かせていただきました。

大教会に着いて、義姉さんと、信者さんと三人で並んで、手おどりをさせていただきました。なんと私は大教会の奥様の真後ろでつとめさせていだいて、ありがたかったです。記念講演の先生のお話。本当に心の病気の子供達が増えてきてい

るなあ、これから自分で子育てしていく上でも、ちゃんと受け止めてあげられるようにしていかないと、あらためて思いました。

大会も終って大教会を後にする私たちを、いつも気にかけて下さる方々が、車が見えなくなるまで手を振り続けて見送ってくださいました。本当にあたたかい心づかいがありがたいなあ、みんな幸せな気分がいっぱいになって帰ることができました。私も人をあたたかい心にしてあげられるよう、これからも日々がんばりたいです。



もっとせうしく……

天場山分教会 仙田 真美

私は、四月十九日が、出産予定日だったので、おつとめ大会には、「とてもいけそうにない」と、思っていました。ところが、四月十五日、無事男児を出産し、一ヶ月たっても体調が良かったので、この大会に、参加することにしました。また教祖百二十年祭の年祭活動の最中であるということも、決心した理由の一つです。

大会で、支部長様のお話がありました。その中で、真柱様より「理想的な女性像とは、そばにいて暖かく感じ、感性が豊かで、何を話しても怒らず、こちらの思う通り動いてくれ……。」と、お聞かせ頂いたということ、自分でも、もっと女らしくならせて頂こうと思いました。

実修会 便り



実修会 は 自習会

瑞雲分教会長 西村彦一

五月の風薫る中国山地をひた走り、若葉の緑が目に見える風景から、早苗がゆるぐ田園風景の、そんな小さな町の大

きな教会へ「ご下命！」を戴いた私は、小さな胸の鼓動が早成るままに神殿へ。課題のカリキュラムの追行を目指した。ご参集の皆さんは殆んど教人との事。今更私は何を・・・と思いつつも、先般出雲市へ

御巡教下された「前真柱様」の教話を交えて、「お勤めも、おたすけも、ひのきしんであります」と続けた。そう云えば今回の出向先の会長様は、昨年私方へ講師としてお出で下さったので、情報も頂いて自分なりの考えで、各家庭の「縦の伝道」について話すことにした。「自分が通って来た確かな道徳(みちのり)を、自信を持って伝えよう」として「家に帰って、教会での愚痴や小言を絶対



言わない。ああ良かった楽しかった、心が救われたと聞こえるように話そう。」近くで聞いているお嫁さんや子供が「そんな良い所なら行って見ようかしら」となります。事実私の教会でも親が喜んで通った家庭程、縦に繋がっている、それが見受けられます。

日曜日で学校の運動会が開催中で、町の中もひっそり、留守宅が多く「おかげ実習」は個々でと言うことになった。

練り合いの席で、大教会に要望が有る

と言われるので聞いてみたら、

「今年の夏前頃に、昼食を戴いたら食べる物ではなく、苦情を言ったら」逆に「不足を言うな！」と、ひのきしんのご婦人に叱られたとの事。そう云えば私も昔、少し傷んだ物を食べた事が有る、

その時は遅い時間外？でした。これからの時期、特に時間制限が無い管理に問題が有ると思われる。最近では其の事を重んじて詰所でも時間制御をして居られます。

「炊事ひのきしん」された結果が苦情でも、甘んじて受けて、詫びる態度が、伏せ込んだ事に繋がりが、先のご守護になる、それが「ひのきしん」の極意だと思っております。詰問下さったご婦

人は、その味よりも、その対応の方に「味気無さ」を一層感じられたのでは無いでしょうか？

話を元に戻して、参加下さった中のF先輩先生とは、今年一月二十七日から三十一日までの「土持ちひのきしん五日隊」のとき、「もっこ」の相棒をしてくださった気丈な先輩。五日間の体調配分や休息を気遣って頂いた有難い先輩。何やら事前にご縁を頂いていたのだなと、私にとっては心なごやいだ「ご下命！」であり、私が習わせて頂いた「自習会」でもあり、素晴らしい内容のある教会での「にをいかけ・おたすけ実修会」でありました。御参集頂いた皆さん、会長様、奥様ありがとうございました。



談話室



ある教養掛の日記

福山分教会長 田中隆之

○月○日(○曜日)

いよいよ教養係が今日から始まる。一体どんな人がいるのだろうか。おちばは「いんねん引き寄せる場所」と教えて頂く。自分のいんねんとは何だろう。何はともあれ、先生という気持ちは捨てて、お互いに成人させて頂く気持ちでつとめさせて頂く。

○月○日(○曜日)

修養科教養生活もだいぶ慣れてきて、みんなの性格も分かってきた。成る程、いんねんを引き合わせて下さっている事がよく分かる。私は元来、短気である。短気とは、自分の思うようにならないことに腹を立てやすい性格である。即ち高慢の心が強いのである。修養科生さんを見ると、この人のここが気になる、あの人のそこが気になる。一人ひとりの癖・性分がずいぶん私には気になる。

良く私は磁石に例えて話をする。人の癖・性分をマイナス極とするなら、お互いマイナスの面では反発を繰り返すだけである。しかし、自分の心をプラス極(癖・性分をさんげする)に変えたなら、見事に相手と引き合う事になる。人を見て不足する前に、自分の姿を教えて下さっている神様の手紙として、ありがとうございます、との心にならなければ……。

○月○日(○曜日)

毎朝駅前でお手振りをしているのだが、一ヶ月間しないのでは申し訳ないので詰所でつとめていると、妻と子供達が駅前でおてふり、チラシ配りをしている姿が頭に浮かんできた。離れていても元気で同じようにつとめれることがありがたい。今日も頑張ろう。

○月○日(○曜日)

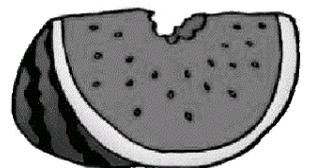
今日、参拝の帰りに神殿おたすけ掛へお話を聞きに行った。その中で「神様への参拝はお礼をする事。しかし、多くの人がお礼そこそこにお願いはかりをする人が多い」と聞かせて頂いた。成る程、早速今から参拝して、とにかくお礼をしようと思いついた。お礼を心掛けて参拝してみると、今までお礼の少なかったことを実感した。両親が元気でおってくれること、妻が優しく元気に勤めてく

れること、子供達がすくすくと成長させて貰えること、教会に繋がる、会長・よふぼく・信者の皆さんが、心を寄せて力を添えてくれること、いろいろ出てくるが、何もかんもありがたい。お礼のしっぱなしである。自分の願いなど一つも出てこない。あく、ありがたいお土産を頂いたと、勇んで詰所へ帰った。

○月○日(○曜日)

今日は、修養科生さんのおさづけの理の拜戴日である。笠岡からは二名の人が拜戴である。二人とも朝から妙妙な面持ち。リラックスして頑張っていると声を掛ける。

昼過ぎ、無事拜戴して詰所へ帰ってきた二人に「おめでとう。今まではおたすけして貰うしかなかった人が、今度はおたすけ人となって生まれ更わってきたんだよ。親神様は這えば立て、立てば歩めという思いで二人の成人を見ている。頑張って」と声を掛けるが、何とか直ぐにでもおさづけを取り次がしてあげたい。その晩、一人の人に、他の修養科生さんに取り次いで貰った。高校を出たばかりの子が一生懸命に人のたすかりを願って、今おさづけを取り次いでいる。感動で涙が出てきた。何と美しい光景なのだろうか。



○月○日(○曜日)

昨日は一人おさづけを取り次いで貰ったが、もう一人の人にも何とかと思っていたら、専修科生さんが腰を押さえて歩いている。聞くと、腰痛がひどいらしい。お願いしておさづけを取り次がせて貰った。この人は入信初代。今までおさづけ自体を見たことがない人。

多少間違いながらのおさづけだったが、汗を流しながら必死のおさづけ。必ず受け取って貰えることを確信した。

○月○日(○曜日)

教養生活も残すところ数日。「いんねん寄せて守護する」と教えて頂くが、少しは成人できたのだろうか。しかし、おちばの理をいっばいに頂いた一ヶ月だったように思う。留守にしている教会が気になりながらも、みんなが頑張っている教会が感に感謝して、最後まで頑張ろう。

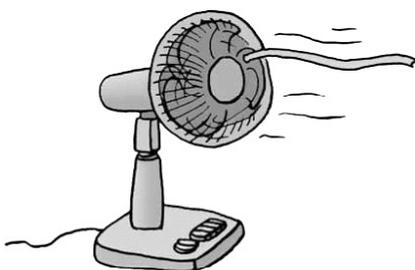
安芸の宮島で思う事

稲富士分教会長 山成友司

安芸の宮島といえば、日本三景の一つとして全国的に有名な景勝地であり、世界文化遺産にも指定された所があります。全国から、そして外国か

らも大勢の観光客の訪れる所ではありますが、地元に住んでおりながら、仲々訪れる機会もなく、先日久し振りに訪ねて見た。JR宮島口から船で十分位の所にあり、船の上から眺める宮島の手つかずの原生林を背景に、海に浮かぶ厳島神社の朱色の鳥居、そして社殿、回廊の景観は、まるで龍宮城を思わせる程に美しいものです。以前に比べる船も大変にきれいで、船着場も見違える程広々きれいに整備されていて、日本の代表的な景勝地として誇れる所であるとの感を深くした次第であります。全国から、そして外国の観光客の多いのも驚くほどである。信仰を目的とした人達ではなく、ほとんどが観光で来ている人達に思える。鹿が多く遊んでいるのは、何か奈良公園を思わせる雰囲気がある。宮島は太古から島全体が神の島神域とされている。宮島の歴史は、一説によると神武天皇が東征の砌、宮島に寄られた折、夜どこからともなく妙なる笛の音と共に女神が現れて、この地は希なる景勝の地であるから神を祭る様にとのお告げがあって、神を祭ったのが始めとされている。そして五九三年推古天皇によって社殿が創建され、一一六八年平家の氏神として平清盛によって現在の華麗な社殿回廊が造営された。源氏を倒し平安貴族として権勢を振い、栄華を誇った平家、厳島神社の社殿回廊の造営、国宝として今に伝わる平家納経の奉納、あるいは全国から千人

の僧侶を集めての千僧供養等、神や仏への信仰に篤かった様であるが、その平家が後に源氏に追われ、須磨で敗れ、屋島の合戦で敗退し、ついには壇之浦で憐れな滅亡と成ったのは何故であろうか、お道で教えられる、神は願い通りの守護を下さるのではなく、心通りの守護と言う事になるのだろうか、「奢る平家は久しからず」と、後の世で言われる如くに、「平家にあらずんば人にあらず」と、奢り高ぶった一族の憐れな末路ではなかったらうか、平家は一族のみの繁栄を願っての信仰であったのではなからうか、「たすけ一条は天然自然の道、天然自然の道通るには、我身我家の事言うのやないで」と、お示し下さる様に、私共この道の信仰者は、人間は元の立場において、親神様によってお造りいただいたいき、親神様の子供、一れつ人間は隔てない兄弟であるとの根元的認識をもって、世界一れつ陽気ぐらしの実現に、勇んでつとめさせていただかねばならないと、華麗なる厳島神社の社殿を眺めながら思ったのである。



今こそ教主の教えを信じて

木津和分教会 松本悦朗

私は、教主七十年祭の年に、おちぼの大学を卒業させていただき、直ちに教職の道に就き、中高生と共に四十年間を過したが、在任中は、クラブ(バレーボール)の指導もつづけた。その間には、選手として、また監督としても、或る種の全国大会で優勝の貴重な経験もさせてもらった。私の指導理念は、

“ONE FOR ALL, ALL FOR ONE”

「一人がみんなのために、みんなが一人のために」或る監督の格言を教訓にしたものであったが。この精神は、スポーツゲームのみのものではない、家庭生活、社会生活の中でも、また全世界の人々の暮らしにも共通するものであると、私は確信し、人生の信条としている。激動する今の世の中にあって、今こそ心(人)のため、世のために尽くすこと(心)を育むことが、強く求められているのではないだろうか。

お道の「人をたすけて、我が身たすかる」の、教理を天理から全世界に向けて直ちに発信すると、同時に、我々、信者よぶぼくは、教主の教えを自信を持って、粘り強く行動に示すことを肝に刻む毎日である。一日も早く世界中が平和で、希望に満ちた、安らぎのある、陽気ぐらしの世の中にと祈る朝夕である。



上原くにも奥様の御霊さまに捧ぐ

宮本 おふさ

去る四月二十二日、薫風香る清々しき日、笠岡大教会三代会長夫人上原くにも御自様の、十年祭がとり行はれました。

古い話ですが、私が宮本家に御縁を頂いたのが、昭和二十七年でした。笠岡大教会へ御挨拶に上った時、くにも奥様の御母堂上原みつ奥様がまだ御健在で、紹介して下さいました。——「あんたが友さん(前会長宮本友二)の嫁さんか、よう来なはった、ついでだから、三曲をみてあげよう」と仰言って、気さくに三曲をみて下さいました。初対面でかたくなってゐた私は、スーッと肩の荷がおりて、ホッとした気が、三十年余り経った今でも、忘れられません。傍にずーっと付き添って下さってゐたお方こそ、三代会長夫人上原くにも奥様で、その後長きにわたり色々とお世話頂いたお方でした。

福山分教会の古老の役員先生が、私達婦人達によく話された言葉があります。「あなた方は大教

会の奥様をよく見習う事ですな。気品があつて姿がよく、慈悲深いお方、声もよくて、お話は抜群です。いつ会ってもみだしなみがよろしい。あの様なお方はめったにおいでになりませんよ。あなた方もよく見習う事ですな！」と。

当時福山分教会も戦後の復興ぶしんが始まってきました。食料が乏しくて、大勢の人の中の炊事係は大変な御苦労を下さったものです、先輩の方々は、一刻として休む暇なく、物資の調達に心をくだし、心を合せて懸命に炊事のつとめにたづさはって下さってゐました。こうした中に女は台として教えられてゐる婦人の方々は、先輩としてのかたき信念と努力を持って、ふしんの地かためをなして下さったのだと思います。その頃のスナップ写真を見るにつけ、「よくぞほんとにこゝまで！」と、いつ見ても胸の熱くなる想いがいたします。こうした中、くにも奥様がお忙しい中を再三再四訪うて下さって、色々とお話を下さり、下さいました。「この苦しいふしんの中でこそ、因縁も切って頂けるし、難をのがれさせて頂くのや」と心をこめてよくお話をして下さいました。私達は奥様に依ってどんなにか励まされ男み心をわき起したかわかりません。

いよゝ奉告祭の前日となりました。奥様は朝からつきっきりでお世話どり下さいました。当時は未だ鉢植えの柵にひもろぎを飾ってゐた頃でし

た。奥様は御自ら、絹の五色の布を買って来て下さり、櫛に合せて、長さを定め、そして裾の整理、五色の色合わせ等、心をこめて下さってやっと新しく奥ゆかしいひもろぎが出来上りました。正面のよろづよ八首の額面三代会長様の御寄稿に依るもの、その額がかもるの上にか、げられ、重い額を受ける為の受け止め金に、紅の三角巾を、御手づから縫って下さったのも奥様です。前日は誠に忙しい。手を休める暇もない。百畳余の畳が入り建具がはめられる。その上婦人会員の手に依る一千コの二重折りの辨当づくり。戦争の様なあわたしい一日が終り、そしていよゝ御遷座です！輝しい朝日がのぼり、よろこびの奉告祭です！大勢の参拝の方達が一日中、感激とよろこびのるつぽにひたって下さった記念すべき日でした。

私達婦人会は「先輩の方々に續かなくては」と想い、又くに多奥様の御親心を、忘れる事なく強固な信仰と、その裏にひそまれたる親心に対して、いつまでも忘れることなく後世にうち續けて行かなければ申し訳ない気持一杯でした。

くに多奥様の晩年は御本部の方の御用が大変忙しくなられ、清楚なお姿を、おちばでしばしばお見受けいたしました。

福山の先輩の婦人会の方々が「大教会の奥様に大変お世話になったから、何かよろこびのお返しでも」と申し出され、色々語り合ったあげく、帝

釈峽が如何でしょうかとお伺させて頂いた所、気持よくお引うけ下さって、目を空けて下さいました。

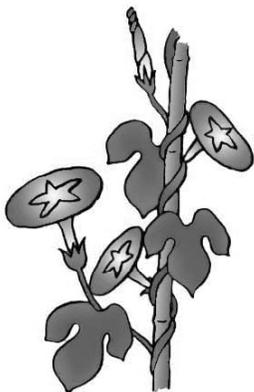
十月の十七日、紅葉の美しい帝釈峽に出向く事に決りました。待ちに待った日、朝から手辨当をつくり、まるで修学旅行に行く様な浮々とした晴れやかな気持で奥様を囲みつ、帝釈へと同行させて頂きました。神童湖の舟の上で晝食を頂き、奥様を囲んでの旅は一日中、子供に帰った様な思で楽しく忘れ得ぬ日となりました。

帰りに「福節の教会へ一寸寄らせて頂く」と仰せ下さって神石の山の中の教会へ御参拝になり、伴をさせて頂きましたが未だ初代会長の奥様が健在で、「永く生きてゐればこんな嬉しくありがたい日もあるのですなあ」と涙乍らに握られた手と手が、離れぬ程の強い握手となりました。その頃の山道は巾一尺位の上り坂で、県道からは八〇〇米あまり。奥様はいそくと上って歩いて行かれ、一同もぞくくと後へ續くのです。「山ぶかい中に建てられた教会」へ御参拝下さって教会の方々に「續いてこそ道と云うのやで」と優しく、一言お話を下されました。「山のなかでもあちこちと天理王のつとめする、——のおうたそのま、で、一同しみと、とおうたを味はわせて頂きました。くに多奥様は優しく教会の方々をえぎらはれ、暖かい親の息をかけて下さったのでした。涙がほ、を

伝い續ける中をこんなにも喜んで居られるお母様のお姿を拜見して、「やっぱり大教会の奥様やなあ……。」と一同感激した次第です。思い起せば次々と話はずきませんが、私達にとっては、偉大なるお母様であり、又恩師となえるお方でした。神様から長命の徳を頂かれた老奥様。私達に尊敬の心を一杯一杯抱かしめられた老奥様の偉大なる御人徳。ほんとに心一つになって涙した一日でした。

本年四月、十年祭をおつとめ頂いて、月日の経つのは早いものだと思いに感じ入ってゐる次第です。くに多奥様を囲んで、後にも先にもたゞ一度だけの小旅行でしたが、にこくと笑をた、えて喜んで下さってゐる先輩の緒婦に想いを起し、今頃は親神様のみふところへ、集ってどんなお話をなさっていらっしゃるか知ら……。と 合掌

(廣町分教会前会長夫人)





▼養徳社発行『陽気』誌六月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「立」、撰六十五句中、笠岡に繋がる教友の方二名、二句が見事撰ばれ掲載されましたので転載させて頂きます。おめでとうございませう。

天位 東悠分教会長夫人 田林 美智子

琴柱ことじ立て月次祭を待つ朝あした

準秀詠 芳井分教会長夫人 佐藤 香苗

顔を立て傍々立てて我身立ち

▼呉市・東濱十三雄さん(福順分教会長)よりの寄稿です。

病喜録のうた

しとど降る天の恵に感謝して

静かに光る あじさいの花

失望をなんとか希望に置き替えて

しびれた足に 今日もありがとう

往診を受けつつ 思い浮かぶのは

医業届かぬ 国もあるのに

笠岡詰所

詩(かくしん)

一、皆んな皆んなと泊まろうや
祭典前の八三母屋に
会長よふぼく共に寝て

教理をたづねて明日の糧を
もとめて身につけ陽気ぐらしを

一、二十六日本部の祭典

親神様が待っている
人間始め元の守護を
つとめに手振りに表わして
皆んな仲良く他人と言ふはさらになし

朝の詩

詩(かくしん)

本部朝づとめ

一、朝まだ暗き 窓の外

たいこの音に さそわれて
神殿に向かう 人の浪
喜ろこびの今 朝づとめ

おやさま おはようございます
雨の御守護を よろこびて
やくどうのお手ふりやくどうの顔

二、朝の明かりは まだ山の向うに
空の白らけを 待ちかねて

人達の足 いそいそと
喜ろこびの今 朝づとめ

つとめ終まりて かんろう台
たたみを照らす 真赤な太陽
やくどうの色 やくどうの時

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆、②教会・布教所の独自の活動の紹介、
③俳句・和歌・川柳、④教会行事開催後の報告記事 等々
1000字前後(800字~1200字)

字 数

題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先

下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。
郵便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377

FAX：0865-66-1314

尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。



◆こどもおぢばがえり 詰所受け入れひのきしん

- 【期 間】 前半：7月25日(日)夕食～7月30日(金)朝食
後半：7月29日(木)夕食～8月4日(水)朝食
- 【割 当】 前後半ともに、
直轄1=1名、直轄2=1名、福山=1名、
高屋=1名、島根=1名、上下・府柿=1名。

◆立教167年 こどもおぢばがえり

- 【期 間】 7月26日～8月4日(10日間)
- 【テ ー マ】 感謝、よろこび、ひのきしん
- 【申し込み】 7月20日までに少年会本部に日程計画書を添えて申し込みください。
*今年も、一人でも多くの人に「こどもおぢばがえり」を勧めさせていただきます。
*中学生には「少年ひのきしん隊」を勧めましょう。(各教区・支部にお問い合わせください)
*なお、こどもおぢばがえり記念品の団扇を作成しました。各教会で、人数×100円をお願いします。

◆こどもおぢばがえり期間中 詰所模擬店

- 【開催日】 7月28日・30日・31日・8月2日(4回)
- 【場 所】 詰所中庭
- 【時 間】 (毎回)6時開始、7時まで
- 【出し物】 かき氷、フライドポテト、たこ焼、輪投げ、スーパーボールすくい。
*いずれも1回50円。
*チケットは、当日5時半より、詰所ロビーで販売します。教会毎にまとめて購入して下さい。
*スタッフに当たっている人は、午後5時、中庭集合・準備です。
*ひのきしんの協力をお願いします。

◆直属ひのきしん特別隊

- 【期 間】 8月6日(金)～20日(金)
- 【対 象】 60歳までの男子よふぼく1名

◆直属ひのきしん5日隊(第5次隊)

- 【期 間】 8月11日(水)～15日(日)
- 【割 当】 直轄1=5名、直轄2=4名、福山=5名、高屋=6名、
島根=5名、久松=2名、上下・府中市=4名(計31名)。
- 【参加御供】 3,000円

◆英語講習会

- 【期 間】 8月22日(日)午前10時 受付
～24日(火)午後2時頃 解散
- 【受講対象】 中学一年生以上～高校・大学生・一般。
- 【受講御供】 2,500円。
- 【持参品】 英和・和英辞典、筆記具、着替え、洗面具。
- 【プログラム】 パソコンを使った英語の学習、英会話、おつとめ、レクチャー、ひのきしん
- 【お問合せ】 詳細は、スタッフの香取雅人☎(086-528-0850)、吉岡誠一郎☎(086-282-0550)へ
(ご連絡下されば、JR大門駅まで送迎致します)

◆青年会新入会員研修会

少年会から青年会へとスムーズに移行してもらいたいとの思いからの開催です。中学を卒業した若者を対象に、少年会キャンプのスタッフとして参加してもらい、“してもらう立場”から“してあげる立場”に成人していくことを目指します。

【期 間】 8月22日(日)～24日(火)

【場 所】 少年会サマーキャンプ開催地

◆少年会笠岡団夏季練成会（サマーキャンプ）

【と き】 8月22日(日)～8月24日(火) 2泊3日

【と ころ】 島根県浜田市 石見海浜公園キャンプ場

【内 容】 キャンプファイヤー、野外ゲーム、海水浴他

【対 象】 小学校3年～中学校3年 高校生は係員

【定 員】 50名

【参加御供】 3,000円(米2合と野菜1品)

【申し込み】 8月18日までに各ブロック委員までどうぞ

◆青年会全分会布教推進週間

【期 間】 8月29日(日)～9月5日(日)

*例年通り全分会にて布教推進の活動を計画していただきたいと存じます。

尚、今年に加えて各ブロックごとで布教を啓蒙するような活動を行う予定です。

単一分会での活動が困難な場合、ブロック行事には必ずご参加下さい。

*詳細については下記各ブロック担当者にお尋ね下さい。

- ・直轄1・2 浅野明教 0865-66-1311 (大 教 会)
- ・福 山 藤本晴司 0848-44-0636 (西 村 分教会)
- ・高 屋 瀬良 昇 0862-96-3245 (高児島分教会)
- ・島 根 門脇裕教 0852-34-0505 (島 根 分教会)
- ・久 松 中村真人 084-922-4324 (久 松 分教会)
- ・上 下 高田一弘 0847-41-5617 (眞 府 分教会)
- ・府 中 市 山田睦浩 08472-2-0254 (甲 井 分教会)

◆立教167年 全教一斉においがけデー

【一斉活動日】 9月28日(火)、29日(水)、30日(木)

9月はにをいがけ強調の月です

*全家庭へにをいがけ

- ①支部より割り当てられた地域に対して、一斉活動日を除く日に、教会独自で計画を立て、責任をもってリーフレットの完全配布をさせて頂きましょう。
- ②教会長は一斉活動日に、一人でも多くのよふぼくを連れて参加させて頂きましょう。
- ③遠隔のよふぼくには、地域での一斉活動日への参加を強力に呼び掛けて下さい(リーフレットを教会から送付する)。

◆各行事に参加ご希望の方は、

各ブロックの担当者にお申し込みください

五月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には一列子供かわいいの親心から目に青葉山ほととぎす初鰹と詩にもうたわれる素晴らしい芽生えの季節の御守護等を通してお育て下さるばかりでなくその旬々とよきの心こころにふさわしい身上や事情を通してお仕込み下さり陽気ぐらしへ向かう成人の道へとお導き下さいます事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は日々御礼申し上げると共にその思召を未だ知らない人々に伝えるべくにをいがけおたすけを通してたすけ一条の御用に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの名称にお許し下さいました御祭日でございますので只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをとめて五月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には今日の日を楽しみに寄り集い同じ思いに伏し拝み尚も親心にお縋りする皆の状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて教祖百二十年祭に向う三年千日と仕切って成人の歩みを進めさせて頂いている二年目の今年に当たり一人でも多くの人の成人を急き込まれる上から「せかいちうをみな一れつをたすけたさそこでためしがゑらい事やで」とまづ道の子の身上事情を現して成人をお促し下さっております事は誠に有難く存じます 只その急き込みが大変厳しいゆえに心こころを倒しがちではございますがお仕込み頂くその人に限らず「見るもいんねん聞くもいんねん」とお聞かせ頂く上から思案して笠岡に繋がる全ての人が我が事として思案し共に励まし合い扶け合って少しづつでも思召を悟らせて頂いてそれに答えるべく一歩ずつ着実にたすけ一条の成人の歩みを進めさせて頂く覚悟でございます その為にも実践項目の実動はもとより子供おちば婦り等の各行事も情性に流される事なく丹精や成人の糧となるよう一つ一つを大事につとめさせて頂く所存でございます

何卒親神様には旬にふさわしい成人を目指し精一杯勤め切る皆の真実誠の心をお受け取り下さいましてたすけ一条の上に更なる自由の御守護を賜り我身思案で荒び勝ちな人々の心が扶け合いの真実の心に立て替わってお望み下さる楽しみづくめの陽気ぐらしの世の状が一日も早く実現しますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



実践項目集計 (4月)

百万軒にをいがけ	64,703軒
おさづけのお取次	4,420回
身上事情お願い	838件
提出教会	119ヶ所

大教会たより

|| 教会指令 ||

◎代務者任命願

新山邑 分教会

*担任

*代務者

三島 三島 克巳
三島 克巳
三島 克巳

◎第七五期修養科修了者

立教167年5月27日修了

芳井山口晃治
上小島田中慎一郎
福芦佐藤昌子
東福山池田カメ子
真金猪原縷理子

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教167年5月14日終講

鶴真延原光生
多古浦田中みゆき

◎直属ひのきしん五日隊

自 立教167年6月11日
至 立教167年6月15日

＊世話班

弥高山 岡崎和夫
雲東 三代温生
加者 久安玉枝

＊参

高屋 久安玉枝
島根 足達豊明
久松 中村剛史
久松 中村剛史
鶴山 中島誠治
海松ヶ岡 宮崎智司
吸江 赤木素志

吸江 明石市 杉原孝志
明石市 杉原智子
上田 中野 万里子
東城 横山 雅人
東城 横山 章
油木 黒瀬 修式
福岩 水本 一利
福岩 水本 利
福年 宮地 実子
引野 谷屋 富正
福春 牧屋 佳子
深安 北村 立人
笠尋 三嶋 利夫
芦常 原嶋 彦
芦常 原嶋 彦
芦常 原嶋 彦
御野 池田 孝志
高児島 瀬田 善彦
龜田山 高橋 信男
篠ノ川 津森 まみえ
瑞北 福島 理江
清嶽 岡田 サカエ
國須 橘高 俊子
河佐 中島 高實
阿木行 田原 節夫
葦沼 三島 順教



五月のひのきしん推進月間で、参加した小雨の公園清掃ひのきしんで、素晴らしい”にをいがけ“の光景に出会いました。それは、私の三メートル横で、若い母親と四、五才位の男の子が、共にカッパを着用し、親子睦まじく草取りに励みながら、ほのぼのとした会話の中に、「元の理」「かしのもの・かりもの」「十全の守護」を、分かりやすく、自然に話している姿でした。

母「けん君、雨のお陰で、草が気持ちよく取れるね。」

子「うん、小さい草も根から取れるよ。」

母「雨も、神様のお恵みよ。この草や木も、山や海も、空やお日様も、猫や犬も、皆神様がお創り下さったものよ。人間もね、この世の中で、仲良く楽しく暮らす様子を見たいと言われて、神様がお創り下さったのよ。だから、けん君

やママの身体は、神様より借りているものよ。だけど、この身体使って、どの様に考えて、どの様に動かすかは、けん君やママに任されているのよ。大切に使おうね。」

子「うん。」ママ、みんな”ひのきしん、ひのきしん“といっているけど、”ひのきしん“って何？」

母「ひのきしんはね、けん君もママも元気な身体を神様に借りているわね、そのお礼に、人に喜んで頂く事をしてお返しすることよ。人が喜び、仲良く楽しく暮らす様子は、神様に一番喜んで頂けることよ。そして、また神様から元気を頂けるのよ。わかった？」

子「うん、わかった。人に喜んで頂くことをするんだね。・・・等など

実に、見事な”にをいがけ“に感謝し、自分は、生半可な教養で、如何にも熟知しているかの様な態度で、易しいことも難しく表現しているのではないかと反省した次第です。